



議会だより

かつらぎ

Gikai 2013.5 (平成25年)

発行/和歌山県かつらぎ町議会
編集/議会広報編集特別委員会

57号



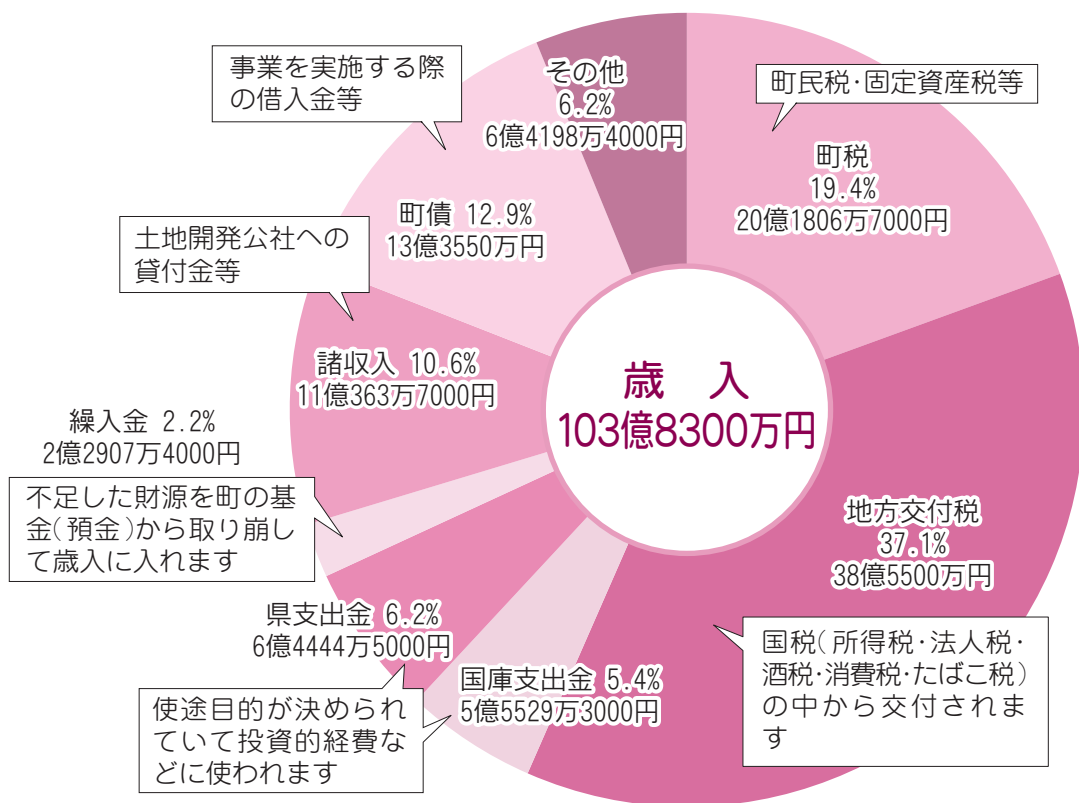
いつまでもお元気で

主な内容

- 地域医療元年 紀北分院との連携強化** 2ページ
- ふるさとセンター改築設計予算化** 10ページ
- 一般質問 おもいを届ける60分** 12ページ
- がんばる人紹介** 20ページ

との連携強化

平成25年度一般会計予算は、103億8300万円となりました。今年度から紀北分院との連携が強化され、地域医療元年というべき取り組みとして、検診の充実と医療分析が始まります。小学校に続き中学校給食の実施に向けた準備費用が予算化されました。



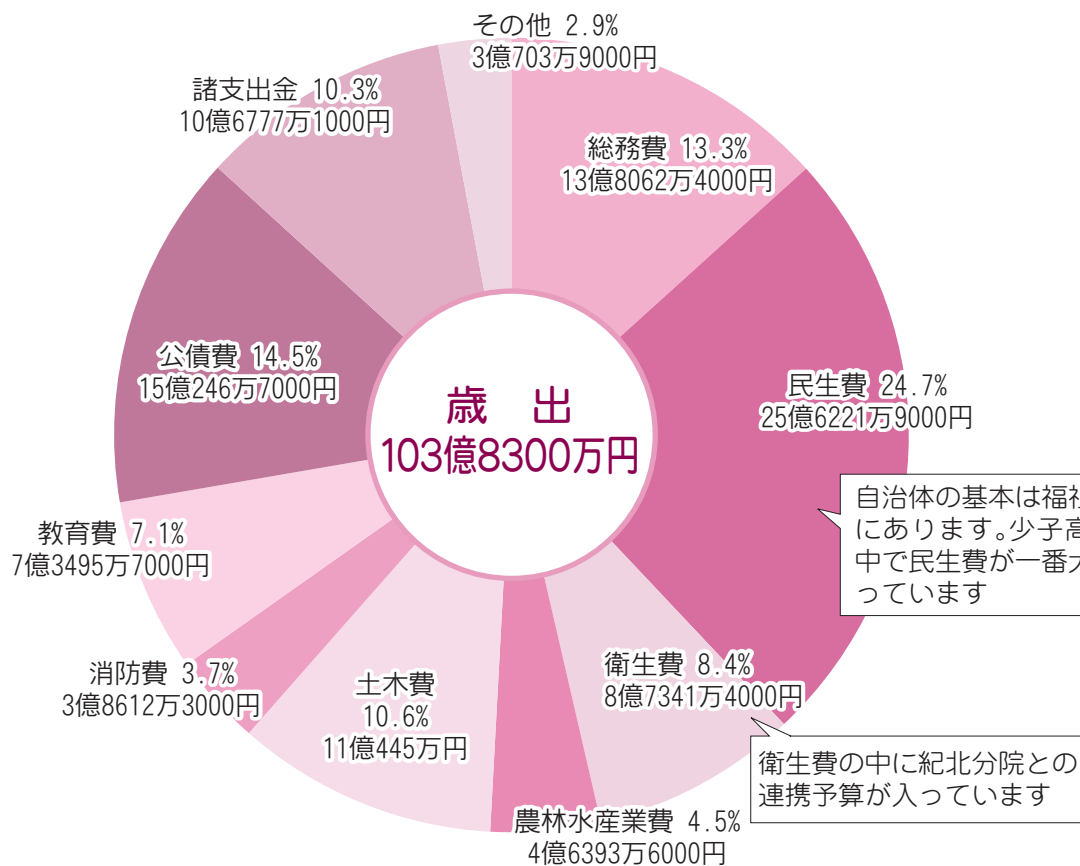
かつらぎ町の町税収入は、20億1806万7000円です。この税収だけでは、自治体の仕事がかまえないので、財源不足を補い、都市と地方の格差を調整するために、国から交付税が配分されます。本町の今年度の交付税は、38億5500万円です。町税と交付税を合すると58億7306万7000円です。

道路や公共施設を造るときに国・県から補助金が出たり、借金(起債)が認められたりします。国・県支出金と町債の中にはこのような政策的な予算が含まれています。これ以外の収入もありますが、この結果一般会計の予算額が103億8300万円になっています。

※予算額はすべて見込み額です。

地域医療 元年

紀北分院



会計別予算額

会計名	予算額	前年度予算	伸び率	
一般会計	103億8300万0000円	106億6000万0000円	△2.6%	
特別会計	住宅新築改修資金等貸付事業	699万4000円	727万0000円	△3.8%
	シビックセンター	2億1517万2000円	9145万0000円	135.3%
	国民健康保険事業	26億3898万5000円	26億2264万8000円	0.6%
	天野診療所事業	974万0000円	924万7000円	5.3%
	後期高齢者医療事業	5億750万8000円	5億1319万0000円	△1.1%
	介護保険事業	23億9750万5000円	22億8942万3000円	4.7%
	下水道事業	6億76万0000円	6億2219万8000円	△3.4%
	花園地域交流推進施設運営事業	9607万6000円	—	皆増
	花園観光施設運営事業	—	8173万2000円	△100.0%
	花園守口ふるさと村運営事業	2458万1000円	2410万5000円	2.0%
	花園梁瀬簡易水道事業	536万0000円	562万3000円	△4.7%
	水道事業会計	4億6465万5000円	5億6293万3000円	△17.5%

25年度 主な事業

3月会議で平成25年度の予算について審議しました。

主な事業について紹介します。

動脈硬化検査事業



1,073
万円

動脈硬化疾患及び脳血管性認知症の予知・予防のため、集団検診等に動脈硬化検査を実施します。

医療分析調査 プロジェクト事業



15
万円

町医師会、紀北分院、県立医大と連携して健康寿命を延ばすために医療分析を行います。

地域医療体制 整備促進事業



1,200
万円

地域医療機関である紀北分院に対し運営費用の一部を補助します。

四郷地域交流センター整備事業



1億
9,455
万円

旧四郷小学校を跡地利用基本構想に基づいて改修し、地域交流センターとして活用します。

合併処理浄化槽設置補助事業



4,202
万円

従来の補助に加え、公共下水道認可区域内にあっても、未整備区域について区域外と同様に補助します。（ただし、当該年度工事予定区域を除く）

また、都市計画区域内では、1.5倍の金額を補助します。

かつらぎ西部公園基本構想 策定業務委託料



120
万円

紀の川流域下水道終末処理場西側に公園を整備するための基本構想を作成します。

かつらぎ斎場火葬炉改修事業



**1億
5,197**
万円

老朽化した火葬炉を更新するとともにシャワ一室の整備などを含め建物の改修をします。

中学校給食配膳室改修事業



693
万円

平成26年度から実施予定の中学校給食にむけて空き教室を配膳室に改修します。

地域振興施設建設事業



2,477
万円

京奈和自動車道パーキングエリア内に物産販売所などを建設するための用地及び設計などの費用です。

花園ふるさとセンター 改築工事設計事業委託料



2,054
万円

古くなったふるさとセンターを全面的に建て替えます。

かつらぎフルーツ王国 振興公社運営補助金



1,736
万円

公社の活動を支援するために運営補助金を支出します。

【一般会計予算に
対する主な質疑】

医療分析に着手

問 医療分析調査プロジェクト事業の医療分析調査はどこにお願いするのですか。またその活用は。

医療分析調査プロジェクト事業の医療分析調査は、町医師会、紀北分院、県立医大と調整中です。健康寿命を延ばす取り組みを進めるために活用します。

やすらぎ対策課長 国保レセプト

と死亡診断書による医療分析について、町医師会、紀北分院、県立医大と調整中です。健康寿命を延ばす取り組みを進めるために活用します。



ヤング検診の受診を

問 ヤング検診について説明してください。

やすらぎ対策課長 23歳〜39歳の若年層の生活習慣病の予防と健康意識の向上を図り、検診により重症化を防ぐために実施します。対象者は3535人で、平成24年度の受診者は69人です。



ランニングマシン

問 体力づくりフロアーの機器の老朽化が進んでいますか、いつ更新するのですか。

やすらぎ対策課長 現在、ランニングマシン5台の更新と健康運動指導士による指導を充実させるため、totalなどの補助金を申請しているところです。

地籍調査による課税へ

問 町税に占める固定資産税の割合は50%を超えています。平成26年度からは地籍調査後の面積で課税されますがどのようになりますか。そのことについて周知する方法は。相談窓口を開設しますか。

町税に占める固定資産税の割合は50%を超えています。平成26年度からは地籍調査後の面積で課税されますがどのようになりますか。そのことについて周知する方法は。相談窓口を開設しますか。

税務課長 平成23年度の試算では、都市計画税を含めて実質1500万円増です。今年の課税通知で周知を行い、窓口対応は考えていません。

問 町たばこ税は、県との配分基準が変更される前年度比900万円増の1億1400万円となっております。一方、町内のたばこ商業協同組合補助金20万4000円がカットされたのはなぜですか。

町たばこ税は、県との配分基準が変更される前年度比900万円増の1億1400万円となっております。一方、町内のたばこ商業協同組合補助金20万4000円がカットされたのはなぜですか。

町長 地元の商業組合がなくなり県に一本化されたからです。地元で受け皿があれば補助金は出します。

コミュニティバス 見直しへ

問

コミュニティバス運行の見直しを本年度下期までに行うことになっています。総務課の担当職員が兼任できる程簡単な仕事ではありません。庁内でチームを組んで専任化して行うべきではないですか。

総務課長 直ちにとりかかりたいと思います。

旧四郷小学校 生まれ変わる

問

四郷小学校の跡地利用の事業内容は。

総務課長

校舎と屋体を改修し、住民の交流の場として利用され、また公民館と児童館も入ることになります。他の小学校の跡地利用でも地域住民から要望があれば、必要に応じて改修します。

障害者の 願いかなう

問

障害者外出支援事業は、従来の福祉タクシー制度を拡充したものです。対象人数は。また、周知はどうするのですか。

住民福祉課長

対象者は830人、案内は申請書を同封して送付します。年間、タクシー券1万円分がガソリン券5000円分のどちらかを選択してもらいます。

幼保一体化へ 向けて調査

問

「子ども子育て支援事業計画」ニーズ調査によって、保育所に入所している子どもの中で保育に欠けない子どもや短時間保育児が出る可能性があるのではないですか。また、この調査と併せて、幼保一体化の計画のための調査をすべきではありませんか。

教育総務課長

国の考えに基づき保

育状況を把握し、どのような体制を確保すべきか、どう支援していくべきかを具体化する計画です。ニーズ調査によって、4時間、6時間保育児が出ると予想されます。幼保一体化についてもニーズ調査を行って、具体的な計画にしたいと思います。

徒歩圏内ですか。また引越し費用は出ますか。

建設課長

徒歩圏内の土地を買収する予定です。引越し費用も補助金の中から出す予定です。

問

災害対策本部は防災センター1階に設置されます。しかし、無線室は2階にあり、情報は2階に入ってきます。このような状況では、大きな災害の時には、災害対策本部は機能しないのではないですか。

町長

防災センター2階の地籍調査室の西部分を改修し、消防の活動に使えるようにします。



旧四郷小学校



建て替え予定の妙寺団地

妙寺団地 建て替え設計へ

問

妙寺団地建替基本計画策定委託料が計上されていますが、ローテーション方式で、同団地周辺で土地を探すといいますが、



防災センター事務室

紀の国わかやま 国体準備始まる

問 「紀の国わかやま国体」かつらぎ町実行委員会委託料について説明してください。

国体推進室長 本町では少年男子ゴルフとオリエンテーリングが開催されます。実行委員会の経費と、広報活動として庁舎前に懸垂幕の設置、公用車にPR用のマグネット版の製作。先進地視察として東京都八王子市で開催される少年男子ゴルフ会場を視察します。

問 発達相談員1人が配属されていますが、年間277件に加え、週4回の巡回訪問を加えると過重労働ではないですか。複数配置を考えるべきではないですか。

教育長 検討したい。

問 防災拠点としての公民館の位置づけがあるにもかかわらず耐震診断

の費用が計上されていないが。

教育長 予算計上を当局にお願いしたい。

**【特別会計予算に
対する主な質疑】**

水圧問題の改善を

問 東山田配水池より自然流下で水を送っている家庭は水圧が低い。東山田配水池より中山田地区へ送水する途中から水を引いてほしいという要望もあります。京奈和自動車道の工事に併せて工事を行うのですか。また東山田配水池への進入路についてはどうする予定ですか。

上下水道課長 中山田地区へ配水する途中から引き込む予定です。また進入路については、国土交通省へ申し入れを行っています。

問 後期高齢者医療に係る国保税軽減措置に

ついて、例えば夫婦の一方が75歳以上で、もう一方が74歳以下の場合、国保に残る人の平等割額が2分の1に軽減されます。この制度は5年間続きます。平成24年度の実績は。

税務課長 平成25年3月26日現在では、526世帯が軽減されます。内訳は、7割軽減で187世帯、5割軽減で52世帯、2割軽減で77世帯、その他で210世帯です。



平成25年度予算に対する表決状況（賛否が分かれた会計は12会計中2会計）

会計名	結果	議員名												
		堀龍雄	赤阪岩男	宮井健次	東芝弘明	藤井昭雄	大原清明	平野皖三	浦中隆男	新堀行雄	氏岡誠	西村善一	福岡久二子	雑賀増己
平成25年度予算 一般会計	8対3で可決	—	○	●	●	○	○	欠	○	○	○	○	●	○
後期高齢者医療事業特別会計	8対3で可決	—	○	●	●	○	○	欠	○	○	○	○	●	○

(注) 堀龍雄議員は、議長のため表決には加わらない。

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

平成25年度各会計予算

一般会計

(反対)

理念なき民間委託は地域おこしの弊害になる

紀北分院と連携した地域医療への取り組み、基本構想策定への努力、合併浄化槽補助の拡充、小学校の跡地利用、妙寺小学校での給食実施、中学校給食実施への準備をはじめとする諸施策には賛成です。しかし、理念なき「行革」による徹底的な民間委託の推進は、地域おこしの弊害になるので反対です。3園以上の幼保一体化施設が必要であり2園には反対です。地域活性化の核になる産業振興について、基本的な戦略が未確立であり、方向が定かではありません。変化を起こす気概に燃え、全力を尽くす自治体への脱皮を求めます。

東芝 弘明

(賛成)

「笑顔で暮らせるまちづくり」に向けての予算

総額は、103億8300万円です。積極型の予算です。学校給食、予防事業、防災対策、観光事業など「笑顔で暮らせるまちづくり」に向けての編成となっています。議会での議論、デザインেশョンキャンペーンへの参加、第三セクター債活用による土地開発公社の処置など、施策に取り入れるこの姿勢も大いに評価されます。これらの予算が十分活かされることを期待します。

雑賀 増己

後期高齢者医療事業特別会計

(反対)

一刻も早く制度を廃止すべき

本制度発足にあたり厚生労働省は、75歳以上の高齢者の特性を①治療の長期化、複数疾患への罹患が見られる②多くに認知症の問題が見られる③いざれ避けることができない死を迎える、と特徴づけ、一方的に後期高齢者と決めつけ、ほかの世代と医療を差別しています。国民皆保険制度の国では、世界に例のない差別医療制度です。これは、憲法でいう「生存権」をも否定するものであり、一刻も早く本制度の廃止を要求するものです。

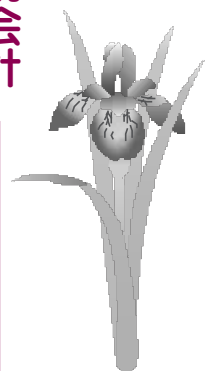
宮井 健次

(賛成)

高齢者が安心した生活を

後期高齢者医療制度は、平成25年4月で5年目になります。制度の当初は混乱などもありましたが、現在は安定した事業運営です。今後も高齢化が進み医療費や保険料の増加も懸念されます。広域連合の事務経費・保険料なども減額予算です。高齢者医療保険を利用しない元気な高齢者の方々に美味しい食事などに招待するような施策を講じることを要望します。

大原 清明



花園ふるさとセンター 改築設計予算化

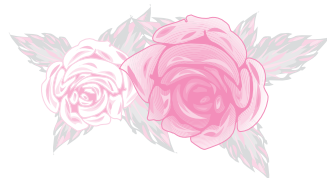
3月会議

3月会議は3月4日に開会し、28日に終了し休会しました。

議事内容は

・人 事	2件
・平成25年度予算	12件
・平成24年度補正予算	17件
・条 例	21件
・その他の議決	5件
・議会議決規則	1件
・諸 報 告	2件
・一般質問	4人

詳細は紙面に掲載しています。



条 例

地域の 活性化の拠点に

条例の一部を改正し、花園ふるさとセンターを花園地域の交流拠点とします。辺地対策債を活用し建て替えるため、会計名を花園観光施設運営事業特別会計から花園地域交流推進施設運営事業特別会計に変更し、会計の組み方も変えます。

【主な質疑】

問 この名称変更によって、会計の性格はど

のように変わりますか。

花園地域振興課長

今まで
の観光

施設では、起債の対象にならないので、辺地債が活用できるように会計名を変更します。改修し実現できる機能は、住民のくらしの支援、交流支援、配食、産業振興、農林産物の加工などです。

問

旅館としてリニューアルできるのか心配ですが。

花園地域振興課長

個室も
含めて

対応し100人程度が収容できる施設にしたいと思っています。

職員給与、抑制から 回復措置へ

職員給与の昇給について抑制されていましたが、平成25年4月1日に回復措置が取られます。

より良い公園の 整備を

平成25年4月1日から町の都市公園条例の一部改正と、特定公園の設置に関する基準が条例で規定されました。

インフルエンザ 対策本部の設置

新型インフルエンザ等対策本部の設置が義務付けられました。

補正予算

一般会計については、国の緊急経済対策などにより、1億8342万1000円の増額となりました。

【主な質疑】

問

新型インフルエンザ対策本部は、どのようなときに設置されますか。

やすらぎ対策課長

新型インフル

エンザ等という「等」の中には、いろいろな感染症が含まれています。緊急事態宣言を国が行う場合もあれば、町が独自に判断する場合もあります。行動計画は現在国が策定中でそれを受けて県・町で策定します。

【主な質疑】

問

障害者の日中一時支援事業の減額がかなり大きい。この事業を実施すれば事業所が赤字になるなど使い勝手が悪いことが原因ではないですか。

住民福祉課長

この事業は、障害者を一時的に預かり、日常的な訓練などを行うものです。減額の理由は事業見込みが減ったからです。委託料等に

については、近隣市町と協議した中で検討したいと思いません。

問

職員はかなり残業をしているのに、超勤

手当が予算化されていないのはどうしてですか。平日の超勤を永久代休としてカウントし、超勤の割増賃金は加算されていません。超勤支払いについては、直近の給料の支払日に支払うことになっていますが、支払われていません。また日曜日の休日出勤については、職員の健康管理上、休日出勤を求めた場合は、出勤を命じた時に代休日を決める必要があるのに、本人の責任になり、8週間以内に代休を取れない場合は、勤務した事実が消えてしまいます。これらのことは、法律と条例に違反していると思いますが、いかがでしょうか。

総務課長

それぞれについて、問題がある事は承知しています。

町長

超勤を代休に振り替えるのではなく

て、健康上のことを考慮しての勤務の割り振りでした。平成17年になって予算編成

ができなくなり、給料を5%カットしました。超勤を

どうするかが問題になり、給料の4%でカットしようということになりました。

平成24年度補正予算

会計名		補正額	補正後の予算総額
一般会計		1億8342万1000円	111億8530万3000円
特別会計	住宅新築改修資金等貸付事業	114万2000円	908万5000円
	シビックセンター	▲148万6000円	8996万4000円
	国民健康保険事業	▲2516万6000円	26億3732万9000円
	天野診療所事業	▲3万5000円	926万6000円
	後期高齢者医療事業	778万8000円	5億2337万7000円
	介護保険事業	▲282万1000円	23億6746万7000円
	下水道事業	▲1355万4000円	5億7851万5000円
	花園観光施設運営事業	▲681万7000円	7512万5000円
	花園守口ふるさと村運営事業	▲70万2000円	2340万3000円
	花園梁瀬簡易水道事業	▲20万円	595万5000円
水道事業会計	収益的・資本的収入	▲3000万8000円	5億3122万5000円
	収益的・資本的支出	▲3883万8000円	5億6396万9000円

諸報告

上限を設けたことは、不正常な状況だと認識しています。超勤の割増分については、勤務時間の割り振りだったのでカウントしていません。土日の休日出勤については、週40時間勤務を守るところから起こってきました。代休日を指定して勤務を命令すべきだと思っています。現状は非常に問題なので、早急に解決したいと思います。請求があれば、労働の対価として支払います。

法律に基づいて、議会に提出しなければならぬ報告が2件ありました。
 ・平成23年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告（教育委員会）
 ・かつらぎ町土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出（土地開発公社）

人事

人権擁護委員候補者を推薦

任期満了に伴い、議会でも適当と認められ、法務大臣に推薦されました。



池田 憲昭氏（再）
（64歳・妙寺）



岡村 利晴氏（再）
（64歳・中飯降）

一般質問 おもいを届ける60分



答弁する井本町長

- ・一般質問は、質問者が事前に提出した通告書に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
- ・内容は、質問者の責任において作成したものを掲載しています。

1 宮井 健次

- T P P 交渉参加と本町の農業への影響について
- 減災と空き家対策について
- 学校における体罰問題について

2 東芝 弘明

- 住宅リフォーム助成制度の導入について
- 小中学校に学校司書の配置を

3 福岡 久三子

- 隣保館について
- 審議会への諮問およびその答申から、あらためて考える
- 内水氾濫による水害対策について
- 住民の期待に応え、排水機場の整備を

4 浦中 隆男

- まちづくりの推進について
- 職員で組織する委員会並びにまちづくり推進特命チームの役割等
- 花園地域の観光施設の今後の運営について

市街地に防災公園を

町長 土地があれば整備する



宮井健次議員

問 昨年の調査で本町の避難所のうち6割近くが、安全性に問題があると指摘されましたがその後改善されたのですか。

総務課長 避難所は現行のままですが、新しい場所、施設の改修もできていますので、それも含め検討中です。

問 720戸の空き家の実態調査を行ったのですか。

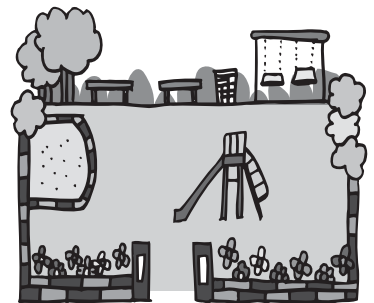
総務課長 現地調査はしていません。

問 廃屋、廃墟対策の特例条例（県条例）として昨年1月から施行された景観支障防止条例は、本町も含め全県で実績ゼロです。これは、条例そのものが使いにくいからですか。そこで、この県条例を補完するものとして、町独自の空き家対策の管理条例を制定すべきと思いますがどう考えますか。

町長 もう少し財政事情を見極めた上で検討したいと思います。

問 妙寺第4町内会から出されていた町道妙寺13号線の拡幅について地権者との話し合いが前向きに進んでいないと聞きます。そこで打開策の一つとして、当該地域周辺を避難路も含

めて防災公園として第一避難所に位置づけたいと思いますが、その可能性はありますか。



め、防災公園として第一避難所に位置づけたいと思いますが、その可能性はありますか。

建設課長 国の住宅市街地総合整備事業の中に、防災街区整備事業があります。これについて今調査、検討しているところです。

問 町長は、この防災公園についてどう思われますか。

町長 防災公園については、空き家を撤去した後、土地を取得しなくても借りられる土地があれば町が整備する。その可能性も含めて考えていきたいと思っています。

TPP交渉参加に反対表明を

問 TPPに参加した場合の本町の農業への影響は。

産業観光課長 本町の試算はできていません。和歌山県の試算（平成23年）によると輸入による米、温州ミカン、中晩柑類で121億3000万円、牛肉、豚肉、鶏肉で13億7000万円。その他合わせて136億円の減少、就業機会の減少も含め経済波及効果186億円の減少となっています。

問 安倍首相は、日米共闘で、「聖域なき関税撤廃は前提ではない」と発言していますが、信用できません。既に全国の町村長大会で3回も反対決議を上げていますが、町長はこの場で参加に反対だと明言いたしますか。

町長 これまで和歌山県町村会あるいは全国町村会で反対の議決をして取り組んできましたのでその姿勢は変わりません。

※その他に学校における体罰問題について質問しました。



本町こそ住宅リフォーム

への助成を

町長 状況を見極め考えたい



東芝弘明 議員

問

47都道府県の中で住宅リフォーム助成を行っているのは和歌山県だけです。昨年12月に議会は請願を採択しています。住宅リフォーム助成について、平成23年3月、山本町長はどのように答弁しましたか。

企画公室長

重要な提案であると考えています。

問

具体的に提案します。住宅リフォーム助成の対象は、一戸建てとマン

学校図書館への司書配置を求める

問

図書館の三要素とは何ですか。

生涯学習課長

資料、施設、職員です。

問

職員である司書の仕事には、「あなたの調べごとをお手伝いします」というレファレンスサービスがあります。質問に対して徹底的に調べて資料を紹介

します。まさに図書館は人間の外部記憶装置です。では、学校図書館とは何か。

普通の図書館は情報センターですが、学校図書館は、情報センターと読書センターという2つの役割をもっています。文科省は、司書教諭と学校司書の配置を重視し、学校司書については、交付税を通じて人件費を予算措置しました。

中学生が0.9冊少ない状況です。この事態をどう改善するのか。計画はどう書いていますか。

教育総務課長

魅力的な本をそなえる、

予約やリクエストを受け、読書相談やレファレンスサービスを行う、司書、司書教諭の配置を目指すと思っています。

問

司書教諭と学校司書の配置が必要だと思いますか。

教育長

2人の支援員に少なくとも1日2時間程度、司書教諭ないし司書の仕事をってもらう方向を平成25年度には目指したいと思っています。

まとめ

文科省は1日6時間、5日勤務という考え方で人件費を交付税に入れていきます。学校司書を配置することによって、子どもの学びがものすごく変わります。配置の方向に進んでいただきたいと思います。



妙寺小学校図書館

学校司書の配置は、公立小学校で47.6%、中学校が23.6%です。和歌山県は全国最下位で小学校が0.4%、中学校が0.8%です。本町の「読書活動推進計画」では、平均読書量が小学生5.1冊、中学生3.0冊で、全国平均と比べ小学生が6.1冊、

隣保館廃止の積極的意義は

町長 今日的な課題から考えて意義のあること



福岡久二子議員

問 諮問にある「現行法における隣保館」は、どういう法律に基づいて何をする施設ですか。

人権推進室長 平成14年に特別措置法

が失効となった後、社会福祉法に基づき、また、改正隣保館設置運営要綱に従って、広く住民交流の拠点として機能させる、また、生活上の相談事業や人権問題解決のための事業を総合的に行う施設です。

問 「現状の検証」の結果、答申ではどのような判断がされていますか。

人権推進室長

隣保館活動は一定の成果は得られたものの、地理的条件や社会的背景から、未だに限られた地域で活動する特別な館としてしか映らず、全町的な役割を果たすという点では不十分であった。今後は一般施策の中で取り組むことが望ましいという判断です。

問

答申では、「行政責任において一日も早く現行隣保館を廃止」と、踏み込んだ判断をしています。その理由をどう推量しますか。また、行政判断はどうですか。

人権推進室長

隣保館廃止は同和問題は同和問題のより完全な解決に向けての第一歩という考え方で、

行政としてもそう判断します。県との議論では、隣保館は今も同和問題を解決する拠点であるという回答でしたが、本町では、同和問題を特別な人権問題とはせず、基本的人権を大切にすることで今後の課題を解決するという方向性です。隣保館廃止はその姿勢を示すことになろうかと考えます。

町長 町の責任としては、もっと早い段階で隣保館運営の在り方を考える必要があったと思っています。

隣保館廃止は今日的な課題から考えると、同和問題の解決に向かって意義のあることと思っています。

問

隣保館廃止と施設の新たな位置づけは同時にを行うとのこと、あらためてお考えを。

町長

広く町民の貴重な財産として有効利用をと思っています。6館一律にはいかなないと考えています。

まとめ

住民の意見はもちろんのこと、決算審査特別委員会の「公民館が果たしている役割や機能も考え、住民の生活および福祉の向上に資するような有効な活用を」という報告、

あるいは、今議会での「児童館のない地域で隣保館は役割を果たすことができるのでは」という意見などもぜひ加味した中で、今後進めていただくことを要望します。

住民の期待に応え常設排水ポンプを

問

内水氾濫の問題を抱えている地域では、町への請願、県との直接交渉など、隣保館の支援も得て、住民自らできることを取り組んできています。水害の深刻な状況がある河川は具体的にはどこですか。

建設課長

桜谷川、藤谷川、西沢田谷川の3河川です。

問

町長から「常設の排水機場整備を目指す」との目標が示されました。その展望についてあらためてお尋ねします。

建設課長

内水氾濫の問題では、住民の方

々に大変な危機感と被害を及ぼしています。常設の大型ポンプによる対策を取っていきたくと考えています。一カ所で3億円強の費用がかかります。具体的な方策も含め、国・県に強く要望しているところです。

町長

将来を考えるとかなり強力なポンプを設置しないと大規模な浸水被害が及ぶということが懸念されます。町だけでやりきるのには困難で、先頃県選出の国会議員に説明に行ってきたところです。実現を図っていきたくと思っています。

まちづくり特命チームに 期待することは

町長 活性化と人材育成



浦中隆男議員

問 「次代のまちづくりプロジェクトチーム」について説明してください。

企画公室長 現在では中堅若手職員8人で構成され、平均年齢は28・9歳です。町政に対する斬新なアイデアの提案と、参加意識を醸成することを目的に設置しています。実績としては、イメージキャラクターの作成や婚活事業などがあります。

問 平成19年度から毎年志願した職員を任命

し、町に元気をもたらす大変良い取り組みです。チームにどんな期待をしていますか。

町長 新しい発想による、さまざまなアイデアで施策を作っていたいただきたいと思っています。

問 新たに設置する「まちづくり推進特命チーム」について説明してください。

企画公室長 50歳未満の職員8人で構成し、町の行政運営の中で発生する、重要な政策課題や特命事項についての調査研究と企画を行います。



問 重要な政策課題や特命事項とはどんなことですか。

企画公室長 重点課題は、人口減少に歯止めをかけること。観光施設の運営の在り方。子育て支援などです。

問 複数の課・室にまたがる課題として、公共交通をどうするか。公営

町長 担当職務だけではなく、町としてどうするかという視点で、今直面している課題個々について検討いただき、町の活性化と人材育成につなげていければと思っています。

問 「グリーンパーク」の指定管理が解除されました。今後の運営はどうなりますか。

町長 新たな民間の団体と指定管理について協議をしています。

問 「恐竜館」は現在休館中。今後の運営をどう考えていますか。

町長 今のままでは採算が取れるとは思えないので、「守口ふるさと

問 「ふるさとセンター」の経営状態はよくありません。原因はどこにあると思いますか。

花園地域振興課長 PRの不足と、施設の老朽化も原因であると思います。

住宅家賃の滞納問題なども、このようなチームで取り組むことができると思います。特命チームにどんな期待をしていますか。

町長 担当職務だけではなく、町としてどうするかという視点で、今直面している課題個々について検討いただき、町の活性化と人材育成につなげていければと思っています。

問 「ふるさとセンター」の改修、「守口ふるさと村」の周辺整備、モミジの植栽など、これらを連携させ黒字に近づけていかなければなりません。専門職員を配置し全体の施設を管理しながら、接客サービスを向上させ運営することが理想であると思いますが。

町長 「ふるさとセンター」の建て替え後の運営にも相当力を注ぐ必要があります。人の配置には即答できませんが、事務とは違う能力が必要で、適任者がいるかも合わせて考えたいと思っています。

問 産業観光課では町営観光事業にどう取り組んでいますか。

「花園ふるさとセンター」の再生プロジェクトに合わせ、利用客増員のため花園地域振興課や「ふるさとセンター」と協議しながら、誘客について検討したいと思っています。

産業観光課長 さとセンター

問 「ふるさとセンター」の改修、「守口ふるさと村」の周辺整備、モミジの植栽など、これらを連携させ黒字に近づけていかなければなりません。専門職員を配置し全体の施設を管理しながら、接客サービスを向上させ運営することが理想であると思いますが。

町長 「ふるさとセンター」の建て替え後の運営にも相当力を注ぐ必要があります。人の配置には即答できませんが、事務とは違う能力が必要で、適任者がいるかも合わせて考えたいと思っています。

町営観光施設の運営は

2月臨時会

第1回臨時会は2月1日に開会し、その日のうちに閉会しました。

議事内容は	
・補正予算	1件
・条例	2件
・契約	1件

条例

通年議会の試行へ

通年議会の試行に伴い、平成25年の定例会の回数を4回から2回に変更しました。

補正予算

町民農園用地費等として2725万円が追加され、補正後の予算総額は110億188万2000円となりました。

通年議会 Q & A

Q 通年議会になると議会運営はどう変わるのですか。

A 議会の招集権は、町長にあり、定例会は条例で年4回開催することが決まっています。

今回、通年議会の試行として、3月4日から9月末までの21日間を会期としました。3月に招集された議会は、従来であれば、3月末に閉会していましたが、通年議会では、閉会でなく休会とし、その間いつでも議長が議会を再開できます。突発的な出来事、震災などが起これば、議会を開いて即座に対応できます。また住民の様々な要求に臨機応変に対応していくため、議会としての役割を積極的に果たすために採用したものです。

Q 議員の活動はどうなるのですか。

A 議会の役割は、町執行部に対するチェック機能と町活性化のための政策提案です。まちづくり施策は、町執行部だけに任せず議会として提案することも大切です。そのために議員一人一人が自己研鑽し知恵を出す必要があります。町民との距離を縮め、住民の声を議会に反映させるために、開かれた、信頼される議会にすることが必要です。

Q 通年議会になれば報酬は上がりますか。

A 今までと変わりません。



表彰

《町村議会表彰》

全国町村議会議長会第64回定期総会において、議会活性化に取り組んだ功績が認められ、本町議会が表彰されました。3月4日、本町議場において伝達式が行われました。



委員会活動報告

議会活性化特別委員会

委員会では、通年議会の試行期間中（3月4日～9月30日）の課題について以下の4点を協議しました。

議会運営 について

① 反問権

町長が、議長の許可により議員の質問に対して論点・争点を明確にするため、反問することができると、試行期間中は、認めることになりました。

② 専決処分事項について

町当局からの提案を審議した結果、12項目を認め、地方自治法第180条第1項の規定に基づき、本3月会議で議決しました。

議会活動 について

① 第4次長期総合計画（平成25～34年）へ提言

現在、策定中の第4次長期総合計画に対し、議会としての提言を行うために、議員全員協議会で「素案」の説明を受け、各常任委員会での議論、そして全体集約を行うことを確認。また、議論を促進するために、講演とシンポジウムの計画が話し合われました。

委員会活動 の充実

① 請願・陳情の趣旨説明

② 参考人の活用

③ 傍聴の自由化

この3点については、①②は、基本的に合意しまし

たが、③については、委員長決裁にした方が良いのではないかという意見が大勢でした。

傍聴者への 対策

① 傍聴席の改修（高齢者、障害者のためのバリアフリー化）

② モニターの設置（傍聴室の確保）

③ インターネット配信

この点については、①傍聴席への階段の昇降の不便さが指摘されており、エレベーターなどの要望が出されていますが、現状では議会棟の耐震問題もあり難しいと判断。次善の策として、②③のモニター室の設置とインターネット配信に向けて早急に改善すべきとの合意に至りました。

研修で学んできました

総務産業常任委員会

効率の良い交通体系の確立



朝倉市コミュニティバス

本町のコミュニティバスは4路線で運行しています。スクールバスも同じようなルートと時間で運行され、平成25年度からは妙寺小学校のスクールバスも運行されます。新たに運行を要望する地域や、乗車人数が少ないコースもありスクールバスの混乗を進めることで費用の縮減や、

交通空白地の解消など早急に取り組むことが求められています。

当委員会は、スクールバスの混乗化や既存の交通機関を有効に活用し、公共交通空白地を解消するなど先進的な取り組みを行っている、福岡県朝倉市を1月21日に視察しました。

朝倉市は平成18年に1市2町が合併し、市域が拡大



視察研修参加者

委員長	浦中	隆男
副委員長	藤井	昭健
〃	宮西	健一
〃	村賀	善増
〃	雑賀	己人
〃	西井	正俊
事務局	田所	幸人
議会議務	西田	幸俊

運行見直しや、スクールバスの混乗化、公共交通空白地解消などの対策を確立しています。本町における公共交通の課題解決の上で大変参考になりました。

したことで「公共交通推進室」を設置し公共交通を新しく検討しました。公共交通は路線バス・鉄道・福祉バス・スクールバスなどで、地域ごとに公共交通のサービスが異なり、不便な地域も多く既存の交通機関を有効に活用しつつ、公共交通空白地の解消とサービスの平準化などのシステムを構築し、コミュニティバスの

幼保一体化を学ぶ

厚生文教常任委員会



視察研修参加者

委員長	東芝	弘明
副委員長	赤阪	岩男
〃	大原	清明
〃	福岡	二子
〃	堀	龍雄
局長	西井	正人
事務局	浦野	光広
議会議務	西田	幸俊

2月13日、東京都三鷹市を訪問し子育て支援についての視察を行いました。市の担当課長は、私たちに對して市のさまざまな計画や何重にもなっているネットワーク図を説明しました。諸計画とネットワーク図は、縦割り行政の壁を取り払って重層的に連携するものであり、同時に諸施策を多方面に具体化して、発展させる力になっていました。それは、少人数な職員の中で市の施策をイメージ化し、情報を共有する力になっていると感じさせるものでした。

市は、保育所の民間委託を具体化するときに、第3セクターを設立し、副市長を社長に据え、市職員である保育士をこのセクターに派遣するという方法をとりました。これによって、民間委託の際、保育士が入れ替わってしまうことを回避して、不安を解消していました。同時に市と委託先との契約を重視し、冊子になった分厚い「ガイドライン」を作成して守るよう求めていました。その後、株式会社にも保育所を2カ所委託しましたが、市は同じことを求めています。実際の保育がどのように行われているかについては、月に1回、半日かけて報告させ点検しています。これが、保育の質を維持発展させる保障になっています。徹底的に保育に責任を負う姿勢には、目を見張りました。

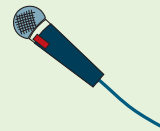
がんばる人紹介

かつらぎ町の発展と

交通安全を願って

道の駅紀の川万葉の里

「道の駅紀の川万葉の里」をお訪ねし、
関本俊彦理事長にお話しを伺いました。



産品直売所のスタッフ

設立の経過をお聞かせください

平成8年紀の川流域下水道の地元対策として県や町から「仮称道の駅」の休憩

所の運営をしないかと提案があり、笠田西部自治区で検討を重ねた結果、地元で収穫した農産物を道の駅の利用者に提供しようということになりました。

平成11年に国土交通省より正式に「道の駅紀の川万葉の里」として認可され、現在は一般社団法人となり、1階は産品直売所、2階はレストラン「まほろば」を運営、ドライバーのオアシスとして多くの人々に利用されています。

直売所の運営にあたって心掛けていることをお聞かせください

かつらぎ町の西の玄関で

ある道の駅に立ち寄られた人々に対し、親切丁寧に対応、また、商品は新鮮な物を適正な価格で提供し、かつらぎ町のイメージアップになるよう心掛けています。

地域への思いをお聞かせください

地域の農家全体が直売所を通じて生きがいをもって生活できたら、またイベントなどを通じて区民相互の交流の場となればと考えています。

これからの課題をお聞かせください

「紀の国わかやま国体」や「高野山開祖1200年祭」の参拝客への対応が喫緊の課題です。長期的には京奈和自動車道の延伸による来店客の減少にどのように対応するか。また出荷者の高齢化により品数や量の確保をどうするかなどが考えられます。



レストラン「まほろば」のスタッフ

「議会だよりかつらぎ」は読まれていますか

はい、毎回楽しみに読んでいます。

道の駅のPRをしてください

1階直売所では、地元で収穫された新鮮な野菜や果物、また加工食品を、2階「まほろば」では手づくりの柿の葉ずしを販売しています。特に柿の葉ずしはおいしいとリピーターも多く人気商品となっています。ぜひ一度ご賞味ください。

議会を傍聴してみませんか & ご意見募集!

次回は6月上旬からの予定です。傍聴については、事前申込みの必要はありませんので、お気軽にお越しください。日程については、下記へお問い合わせください。議会だよりに対するご意見等も募集しております。なお、お寄せいただいたご意見は紙面に掲載することがあります。